

道徳学習指導案

指導者 藤田 真紀

- 1 日時 平成 25 年 6 月 21 日 (金) 第 5 校時
- 2 学年 第3学年 男子10名 女子10名 計20名
- 3 主題名 本当の思いやり (2 - (2) 思いやり)
- 4 資料名 金魚 (出典「とびっきりの道徳授業①」明治図書)

5 主題設定の理由

(児童の実態について)

本学級の児童は、活発な児童が多く、おおむね自分の考えをみんなの前ではっきりと話すことができる。

「平成25年度『小・中・高等学校道徳教育実践研究事業』における児童生徒及び教職員の意識等調査」の結果では、「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人には親切にしたい」と考えている児童は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」合わせて全員が肯定的に捉えている。しかし、実際の生活を見てみると、自分のわがままを通そうとしてけんかがおきてしまったり、友だちが傷つく言葉や態度をとってしまったりしている。本当の思いやりとは、相手の身になって考えることであることを理解させ、思いやりの心を行動に移せる態度を育てたい。

そのために、道徳の時間や学校生活全体を通して、小さなささやかな思いやりの体験を積み重ねていきたい。そして、より深く広い人間関係を育成するために、温かい心とともに相手に対する思いやりの心を育てていきたい。

(主題について)

本主題は、学習指導要領解説道徳編、中学年2 - (2) の「相手のことを思いやり、進んで親切にする。」の項目である。

この段階では、徐々に相手の気持ちを理解できるようになるため、相手に対する思いやりの心を育てる必要がある。より良い人間関係を築くためには、相手の立場に立って考えるということが求められる。

本資料は、子どもたちが身近な問題として捉え、真剣に考えることができる資料である。

まいちゃんと一緒にすくった金魚を飼うことになったわたしは、きちんと世話をしていたが、一週間で全部の金魚が死んでしまう。お盆にまいちゃんが家に来ることになったが、まだ金魚が全部死んでしまったことは伝えていない。その後のわたしの気持ちや行動を考えることを通して、真の思いやりについて考えさせたい。



(道徳的実践力を高めるための工夫)

- 学習前 一帰りの会で、「今日のキラリ」を発表し、友だちの思いやりや親切、自分の思いやりや親切を見つける。
- 話合い 一まいちゃんが本当のことを言おうか、それとも、新しい金魚を入れようかと迷っている場面について考え、自己決定の場を与える。
- 事後 一授業の板書で使った絵や短冊を効果的に掲示する。学級通信で学習内容について知らせる。帰りの会での「今日のキラリ」の継続をする。

6 他教科・領域等との関連

月	教科・領域等	道徳の時間	生徒指導の三機能との関連
5月	<p>友だちビンゴ (学級活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのを知り，交流を促す。 		
6月	<p>イルカのねむり方・ありの行列 (国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を持った箇所を明らかにしながら，感想文を書き交流する。 	<p>自分なりの思いやり 2- (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まいちゃんに本当のことを言おうか，それとも新しい金魚を入れようか」と，迷っている主人公になって考えることを通して，本当の思いやりについて考えることができる。 	<p>自己存在感を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人かけがえないクラスの一員だという意識を持たせる。 <p>自己決定の場を与える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを明確にし，理由を言う。 <p>共感的人間関係を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で，共感的な理解を図る。
7月	<p>お楽しみ会 (学級活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しめる会になるよう，相手の気持ちや感情を考えて企画し，会を楽しむ。 	<p>協力し合って仲間づくり 4- (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのことをわかり合い，明るく楽しい学級をつくろうとする道徳的実践意欲と態度を養う。 	
<p>能美中学校区 めざす子ども像 自分が好き，友だちが好き，地域が好きと言える子ども</p>			

7 本時のねらい

「まいちゃんに本当のことを言おうか、それとも新しい金魚を入れようか」と、迷っている主人公になって考えることを通して、本当の思いやりについて考えることができる。

8 指導過程

	学習活動と主な発問	予想される児童の意識の流れ	指導上の留意点 (○) や評価 (※)
導入	<p>1 思いやりについて考える。</p> <p>○ 思いやりとは、どういうことでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしくすること。 ・困っていたら助けること。 ・その人の気持ちになること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 価値への方向付けをする。 ○ アンケートの結果を提示し、みんな思いやりの気持ちが大事だと考えていることを知らせる。
展開前段	<p>2 資料「金魚」(前半) の話を聞いて話し合う。</p> <p>○ すくった金魚を私が飼うことになったとき、わたしはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ 金魚が全部死んでしまったとき、私はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ まいちゃんがお盆に遊びに来ることを知り、わたしはどうしようと思ったでしょう。その理由も考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばってお世話しよう。 ・今度会うときまで、大切に育てよう。 <p>・かわいそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せっかくすくってきたのに。 ・まいちゃんが悲しむ。 ・まいちゃんになんて言おう。 ・私をもっと見てやればよかった。 <p>[本当のことを言う]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まいちゃんはがっかりするけど、うそを言うよりいい。 ・まいちゃんも、うそを言われるより本当のことを言われた方がうれしいだろう。 <p>[新しい金魚を入れる]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まいちゃんがよろこぶ。 ・まいちゃんを悲しませないようにするため。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容把握をするために、登場人物や状況を振り返りながら発問していく。 ○ 大事に育てようと考えていることをおさえる。 ○ 悲しいと同時に、まいちゃんのことを心配している私の気持ちに共感させる。 ○ 自分の考えをワークシートに記入し、ネームプレートで、自分の考えを明確にさせる。 (自己決定の場を与える) ○ いろいろな思いやりがあることに気づくようにする。 ○ 友達の話聞いて、もう一度ネームプレートで、自分の考えを明確にさせる。意見の変わった児童に理由を聞く。

	<p>3 資料「金魚」(後半) の話を聞いて話し合う。</p> <p>◎ 最後の「○○○・・・。」で、わたしはまいちゃんになんて言いますか。それはどうしてですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この金魚は買ったものなの。 ・実は、全部死んでしまったの。 ・悲しませたくなかったから新しい金魚を入れたの。 <p>(本当のことを言うのがまいちゃんのためだから。言わないとずっとだますことになるから。)</p>	<p>※ 本当の思いやりについて考えることができたか。(発言)</p> <p>(共感的人間関係を育成する)</p>
展開後段	<p>4 自分を振り返る</p> <p>○ 相手のことを考えて何かをしたという経験はありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないところを教えてあげた。 ・一人でいた友達に、一緒に遊ぼうと声をかけた。 	<p>○ 日常生活を振り返り、自分自身の中の思いやりの心に気づかせる。</p>
終末	<p>5 心のノートを読む。</p>		<p>○ BGM を流しながら、P34 に紹介されている友達を思いやる詩を読み聞かせし、余韻を残して終わる。</p>

9 板書計画

まいちゃんを思いやって

だまって新しい金魚を入れる

しんでしまったことを言う

金魚

まいちゃんのことを考えて

・まいちゃんがよろこぶ。
・かなしませたくない。

・うそがばれたらかなしむ。
・うそを言うよりいい。
・まいちゃんも本当のことを言われる方がいいと思う。

・がんばっておせわしよう。
・大切にそだてよう。
・かわいそう。
・せつかくすくつてきたのに。
・まいちゃんに何て言おう。

わたしは、ちょっとおくれて、ごめんね。

ネームプレート

ネームプレート